



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日
東

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社 上場取引所
 コード番号 5612 URL <https://www.nichu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石毛 俊朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 圭一 (TEL) 03-3546-7675
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	12,164	△7.2	120	△48.6	91	△62.7	91	—
2025年3月期第3四半期	13,109	0.8	234	△64.1	245	△63.8	△121	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 87百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	28.39	—
2025年3月期第3四半期	△37.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	25,653	9,642	36.1	2,885.29
2025年3月期	22,221	9,639	41.8	2,888.18

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,270百万円 2025年3月期 9,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	18,000	6.3	230	△11.8	230	△14.1	0	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	3,293,074株	2025年3月期	3,293,074株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	80,064株	2025年3月期	80,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	3,213,010株	2025年3月期3Q	3,213,020株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、水道事業体のダクタイル鑄鉄管の発注量が前年度同様全国的に低調に推移していることに加え、部品仕入価格や資材価格、人件費等の諸経費の上昇も続いており、収益を大きく圧迫する要因となっています。そのため、販売価格への転嫁やコスト削減の積上げなどの企業努力により収益の確保に努めておりますが、当期につきましては、売上高は前年同期比減収、営業利益・経常利益は前年同期比減益となりました。

今後は上下水道の老朽化に伴う更新需要はあるものの、業界全体の生産設備が過剰な状態を解消すべく、2026年12月を目途に設立を予定している、当社と株式会社クボタとの製造合弁会社※設立に向けて着実に準備を進めております。

※クボタの京葉工場で生産している小口径のダクタイル鉄管（直管）の完成品及び半完成品をOEM供給する製造合弁会社（当社の子会社として、当社久喜工場のダクタイル鉄管（直管）の製造部門を分社）

また、カーボンニュートラルへの対応として、久喜工場にて2025年7月に生産稼働を開始した電気炉については、この度10月より100%電気炉化を実現いたしました。2027年度には、当社製品の50%のCO2排出量削減（対2013年度）を目指しております。

現下は厳しい環境ではありますが、生産設備の再編、コスト低減等の企業努力に加え、お客様にご理解いただきながら販売価格の改定を進め、収益の改善を図ってまいります。

加えて当社では、パーパスである「水が途切れない世界を実現する」ための取り組み、すなわち、製造・販売にとどまらず、管路診断、設計から工事施工に至る管路サイクルすべての分野での活動への展開を図っております。具体的には、さや管推進工法での工事負荷を軽減する部品「オセール」の拡販、プリセット接合工具「楽ちやく」の新サイズへの拡大開発、スマートフォンやタブレットでマンホール蓋のデータ収集・集計、自動編集できるDXソフト「だいさくくん」の販売促進、Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術の普及促進などを行い、将来に向けた活動を引き続き推進しております。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、水道事業体の管路布設向け鑄鉄管発注量の減少影響を受ける中、受注量の確保と販売価格の改善に努めたものの、前年同期比では9億45百万円（前年同期比△7.2%）減少の、121億64百万円となりました。

収益につきましては、売上高が減少したことに加え、電気炉の生産稼働開始に伴う一過性の費用等により、営業利益は1億14百万円（前年同期比△48.6%）減少の1億20百万円、経常利益は1億54百万円（前年同期比△62.7%）減少の91百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に電気炉建設のための既設撤去費用等1億2百万円を特別損失として計上した一方、当期は製造合弁会社設立準備に伴う受取精算金を特別利益に1億65百万円計上したことなどにより、2億13百万円増加し91百万円となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、安定利益の確保に向けて、一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億31百万円増加し、256億53百万円となりました。これは主に、流動資産の「現金及び預金」が16億50百万円、「商品及び製品」が5億63百万円、有形固定資産の「機械装置及び運搬具（純額）」が10億99百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ、34億28百万円増加し、160億10百万円となりました。これは主に流動負債の「短期借入金」が13億円、固定負債の「長期借入金」が28億円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、96億42百万円となりました。これは主に配当金の支払による減少が80百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加が23百万円、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を91百万円計上したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の通期連結業績の予想につきましては、2025年7月28日に発表した予想数値からの変更はありません。様々な動向を見極め、業績予想の修正が妥当と判断されれば速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908	4,558
受取手形及び売掛金	3,047	2,803
電子記録債権	3,362	3,269
商品及び製品	2,571	3,134
仕掛品	699	799
原材料及び貯蔵品	600	669
その他	202	368
貸倒引当金	△61	△59
流動資産合計	13,330	15,544
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	15,561	16,899
減価償却累計額	△14,430	△14,668
機械装置及び運搬具（純額）	1,131	2,230
土地	3,163	3,163
その他	10,377	10,562
減価償却累計額	△7,424	△7,545
その他（純額）	2,952	3,016
有形固定資産合計	7,247	8,411
無形固定資産	469	439
投資その他の資産	1,173	1,258
固定資産合計	8,891	10,109
資産合計	22,221	25,653
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	765	872
電子記録債務	2,362	2,469
短期借入金	3,550	4,850
未払法人税等	71	37
賞与引当金	161	38
その他	2,257	982
流動負債合計	9,168	9,248
固定負債		
長期借入金	2,000	4,800
役員退職慰労引当金	45	49
退職給付に係る負債	17	20
負ののれん	9	5
その他	1,341	1,885
固定負債合計	3,413	6,761
負債合計	12,582	16,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,855	1,855
資本剰余金	264	264
利益剰余金	6,359	6,370
自己株式	△106	△106
株主資本合計	8,374	8,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	56
退職給付に係る調整累計額	871	828
その他の包括利益累計額合計	905	884
非支配株主持分	359	372
純資産合計	9,639	9,642
負債純資産合計	22,221	25,653

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	13,109	12,164
売上原価	10,963	10,134
売上総利益	2,146	2,029
販売費及び一般管理費	1,911	1,909
営業利益	234	120
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	0	3
設備賃貸料	4	4
受取賃貸料	5	1
作業くず売却益	11	12
受取精算金	—	22
その他	21	19
営業外収益合計	43	63
営業外費用		
支払利息	28	61
支払手数料	0	25
設備賃貸費用	3	4
その他	0	1
営業外費用合計	32	91
経常利益	245	91
特別利益		
固定資産売却益	3	1
受取精算金	—	165
特別利益合計	3	166
特別損失		
固定資産除却損	102	10
特別損失合計	102	10
税金等調整前四半期純利益	147	247
法人税、住民税及び事業税	123	110
法人税等調整額	127	29
法人税等合計	250	140
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102	107
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△121	91
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	23
退職給付に係る調整額	△42	△43
その他の包括利益合計	△30	△20
四半期包括利益	△133	87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152	71
非支配株主に係る四半期包括利益	18	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	ダクタイル 鑄鉄関連	樹脂管・ ガス関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	11,426	1,683	13,109	13,109	—	13,109
外部顧客への売上高	11,426	1,683	13,109	13,109	—	13,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39	39	39	△39	—
計	11,426	1,722	13,149	13,149	△39	13,109
セグメント利益	62	165	227	227	6	234

(注)1. セグメント利益の調整額 6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	ダクタイル 鑄鉄関連	樹脂管・ ガス関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	10,615	1,549	12,164	12,164	—	12,164
外部顧客への売上高	10,615	1,549	12,164	12,164	—	12,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	31	31	31	△31	—
計	10,615	1,580	12,195	12,195	△31	12,164
セグメント利益又は損失(△)	△6	123	117	117	3	120

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	356 百万円	577 百万円
負ののれん償却額	4 "	4 "